

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 (FAX兼用) ホームページ <https://hatoyama.info/>

8月・9月の活動予定

■猛暑撃退！かわせみハウス前テントで流しそうめん



▲去年の暑気払い

8月4日(日)午後5時より、NT夏祭りに合わせて恒例の「暑気払い」をかわせみハウス前のテントでします。鳩山ニュータウン住民自治会と共催。コミセンと西友前には屋台が出ます。暑気払いテントでは毎年、環境フォーラムの仲間らがそれぞれに持ち寄った差し入れと一緒に味わえるのが楽しみです。今年はテントで流しそうめん気分を味わってもらおうと準備中です。乞うご期待。参加費無料。差し入れ歓迎。ぜひお越しください。

■新町長誕生 「まちづくり懇談会」を再スタート

8月17日(土)午後2時より、かわせみハウスで「まちづくり懇談会」を開催します。参加費無料。

鳩山町に若い町長が誕生しました。「鳩山町独自の財産を活かし、農業支援による鳩山ブランドの創出」が公約です。そんな、まちおこしの機運が高まっている折に、住民自身も勉強し、「楽しみながらまちおこしをしようよ」という仲間づくりが懇談会の目的です。

環境フォーラムは、自然環境保全に関連して「まちづくり」も活動目的に挙げています。比企丘陵と鳩山町の特徴と魅力(自然・生活)を生かした地域創生について話し合うパネル討論と講演会を開催し、2021年には総務省地域創造アドバイザーの金丸弘美氏「〈食〉を生かした地域づくり」講演会などもやりました。懇談会には若者の参加をお待ちしています。もちろん、気持ちの若い人も歓迎です。一緒に話合しましょう。

■栗ひろいイベント、今年は2回開催にチャレンジ



今年で4回目の開催となる「味覚体験イベント」ですが、今年はこれまでに蓄積してきたノウハウを生かし、生産者との話し合いを踏まえて、「栗ひろい」を9月15日と22日の2週連続2回開催にチャレンジします。参加料金も3500円とちょっと高めに設定し、広報を早めを開始し、中身の充実で参加者数の目標達成を目指します。さあ、どうなりますか。

8月・9月 活動スケジュール

- | | | | |
|----|--------|--------|---------------|
| 8月 | 4日(日) | 午前8時半~ | 資源回収 |
| | | 午後5時~ | 暑気払い・NT夏祭り |
| | 6日(火) | 午前9時半~ | 理事会(下半期活動計画) |
| | | 午後1時半~ | 8月定例観察会 |
| | 17日(土) | 午後2時~ | まちづくり懇談会 |
| | 22日(木) | 午後2時~ | 自然観察会(串田講師) |
| | 25日(日) | 午前9時~ | 第3回写真学校 |
| | 25日(日) | 午前10時~ | ピザ窯パーティー(貸切) |
| | 30日(金) | | 「熊井の森通信」33号発行 |
| 9月 | 1日(日) | 午前8時半~ | 資源回収 |
| | 10日(火) | 午前9時半~ | 理事会 |
| | | 午後1時半~ | 9月定例観察会 |

8月の活動予定

■みんなで育てる森づくり学習講演会

令和6年度埼玉県森林ボランティア育成事業 後援/鳩山町

学習講演会&
熊井の森の生き物観察会

みんなで育てる森づくり

「熊井の森」の
雑木林の再生と
生物多様性の維持

講師 ● 串田宏人
(公財)埼玉県自然環境
保護協会

参加費 ● 無料

日時 ● 8月22日(木)
午後2時~4時

会場 ● 上熊井集落センター

一緒に里山づくりを
しませんか
《作業ボランティア募集》

今年10月~来年2月、「熊井の森
トラスト地」での森林整備作業にご
協力いただける方を募集していま
す。草刈り、枯れ倒木処理のほか、
刈り取った草や枝の運搬や肥料
などの軽作業もあります。ご協力
いただける方はご一顧ください。

《主催》
NPO法人はとやま環境フォーラム
Tel:049-227-3001
mail:kawaseem3001@gmail.com

8月22日(木) 午後2時に、上熊井集落センターに集まって、熊井の森の生きもの観察会をした後、会議室で、「熊井の森」の雑木林の再生と生物多様性の維持をテーマにした学習会を行います。講師は熊井の森をよく知っている串田宏人さんに、これからの活動の基本となる、生きものの生態に配慮した雑木林の整備再生の仕方について講演していただきます。多くの方々の参加をお待ちしています。

7月の活動報告

■資源回収にご協力、ありがとうございます



7月7日(日) 午前9時、資源回収業者が取りに来るまで、かわせみハウスの裏手に積載してある古新聞・雑誌・アルミ缶・段ボールの山です。環境フォーラム設立の2008年から休まず、毎月第1日曜日に実施。自家用車で資源を引き取りに行く担当者、かわせみハウスまで持ってきてくれる資源の積み下ろしのサポートなど環境フォーラムの会員5人ほどやっています。7月は資源総

量740kg。鳩山町からの資源回収事業報償金3700円(kg5円)が入り、活動経費の重要な収入源になっています。長年の資源回収へのご協力に感謝です。

■7月は猛暑のなかで草刈りを7日間も



7月はクールダウンの月のはずでしたが、結果は逆。お借りした畑の面積が増えたため、梅雨の合間の草刈り作業に追われ、7月は8日、10日、12日、

15日、17日、21日、24日と7日間も草刈りでした。猛暑のため、老体に鞭打ってやっても、1時間どころか30分ほどでへばってしまう羽目に。こっちの都合だけではやれない天候しだいの農作業の大変さが身に染みました。でも、共同菜園で収穫できたジャガイモやトマト、ナスを分けてもらって、美味しく食べました。

■「ハト麦を守れ」大作戦



7月20日夜8時頃、バラバラと音を立てて大粒の雨が降ってきました。ザーザーと本降りの雨、雷もピカピカ光りました。翌日、「ハト麦が倒れているよ」との知らせがきました。それは、大変！昨夜の強い雨のために倒れたのでしょうか。急な話でしたが、竹で支えて起こそうと、会員同士、連絡を取りあいました。竹を運ぶ軽トラックを借りて来てくれる人、「行けるよ」と二つ返事で駆けつけてきてくれる人、道具を揃えて来る人、男性3名と女性2名があっという間に集まりました。まずは竹を立てて、周囲に紐をぐるりと張って、風で倒れないように支えました。



まあ、応急処置ですが、役に立ってくれるでしょう。真夏の気温や雨に耐えて、大きく育て。がんばれ、ハト麦。

▲はと麦畑での肥料撒き

8月定例理事会の議題（下半期活動実施計画案）

■今年度下半期の活動計画(案)にご意見を

8月6日（火）の8月定例理事会で、今年下半期の活動実施計画を話し合います。

＜下半期実施計画について＞

A 味覚満喫イベント関係

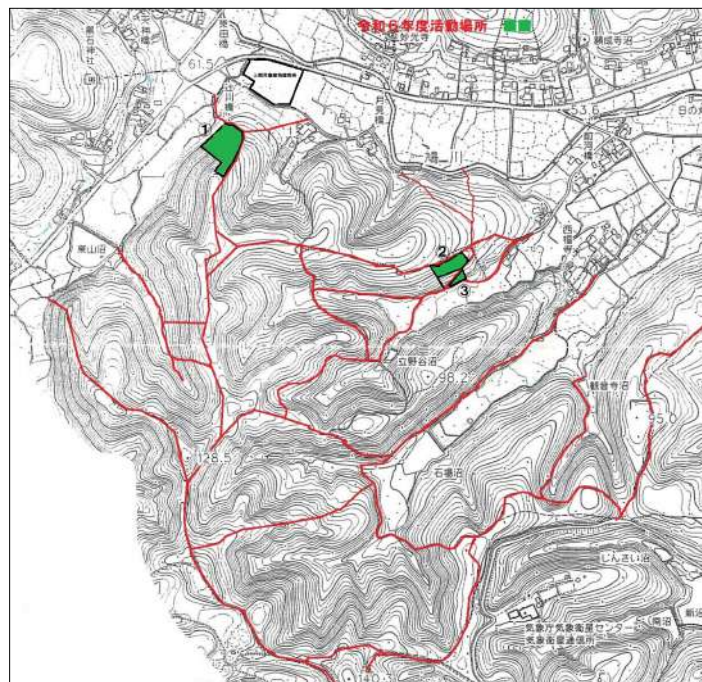
- ・栗拾いイベント（9月15日、22日）の概要と課題
新規の運営方法の主旨説明と課題の確認
- ・芋掘りイベント（10月19か20日）の概要と課題
生産者協力金の主旨、企画の目的の再確認
- ・はと麦収穫イベントの準備状況報告
- ・共同菜園の運営状況と課題の報告

B 雑木林の再生事業関係

- ・9月から来年2月までの間に実施する雑木林（右地図参照）の整備作業の実施計画（案）の検討。実施目的、実施場所、実施要員の確認。実施日程表の作成。機材購入状況の報告。チェンソー講習会。
- ・秋の地元（下熊井）共催草刈りの実施日
- ・来年度の助成金・補助金申請の方針

C その他の実施計画

- ・はとやま祭参加（11月3日） テントと室内での展示内容 剥製の展示、物品販売をどうするか
- ・エコフェスタ比企（11月4日） 新規企画はないか、出展者募集の効果的な方法はないか



- ・資源回収 回収協力者拡大の方法、問題点
- ・SNS活用 具体的方法の実施状況

★理事会は理事だけでなく、各イベント責任者も加わって協議しています。会員の参加も歓迎です。環境フォーラムの活動について関心を持っていただき、ご意見を伺えれば幸いです。理事会当日までには、実施計画概要案がまとまり次第、会員にメールします。ぜひお越しください。

「熊井の森」づくりの基本知識 ②

2回目の今回は「里山」とはなんぞやというところに行く前に、まずは、森についての基本的な知識を深めたいと思います。

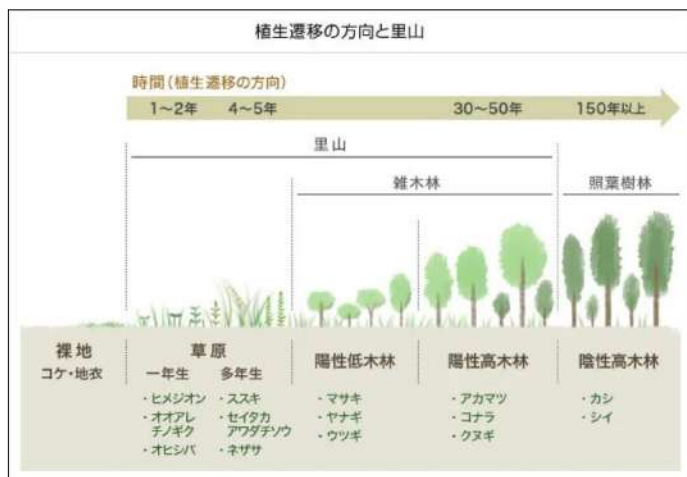
それは、「里山」を考える大前提として「遷移（せんい）」という自然現象があることです。これは、例えばある耕作放棄地を放っておくとススキなどの草地になり、暫くするとそこにタラノキやヌルデ、アカメガシワ、ハンノキといっ

た木が生えてきて、いずれは藪になり、いつかは森林になるというように、長い年月をかけて、草地→やぶ→明るい森→暗い森と順を追って安定した森（極相林と呼びます）になることです。

この「遷移」という力が働いているため、安定した暗い森になるまで常に環境が変わり続けています。そんな遷移の途中途中で、私たち人にとって有用な資源（自然の恵み）が採れるタイミングがあります。

例えば草地のときにはゼンマイやワラビなどが採れ、林の木を切って地面に陽の光が当たるようになると早くに生えてくるタラの木、藪の状態では芝（燃料）として活用され、コナラやカシ類が生えてくると今度は林床でキノコが採れたり、木を切って燃料やシイタケの原木にしたりなどします。

これは野生の生き物にとっても同じで、「遷移」の最初の方の草地でしか暮せない生き物や、少し藪のようになった場所がないと生きてゆけない生き物、明るい森が必要な生き物、暗い森でないと生きれない生き物もいます。また、生きていくために草地と明るい森、やぶと暗い森、草地とやぶと明るい森など、複数の環境が必要な生き物がいる点は、人と野生動物との大きな違いかもしれません。



▲出典：日本人と森・里山の暮らし

http://watashinomori.jp/study/basic_02-2.html

ニ－ハオ 熊井の森歳時記

萱草のお花、母親の象徴？！



▲藪萱草（ヤブカンゾウ）7月21日午前草刈り後に撮影

環境フォーラムは熊井の森周辺の休耕地3カ所をお借りして、フォーラムファーム（FF）で野菜やハト麦などを作っていますが、1号地（共同菜園）の横に藪萱草が群生しています。梅雨明け頃田園に良く見かける花ですが、周り緑一色の中に、あざやかなオレンジ色がとても目立つんです。萱草の花も根っこも生薬であり、消炎・鎮痛・止血または気持ちを安定させる等の薬効があるため、別名「忘憂草」（憂愁を忘れる）とも言いますが、実は中国の文学史上でも重要な描写対象となっています。

母親が住んでいる庭に、遠方に出かける子どもが萱草を植えておくと、母親がその花を眺めたときに寂しい気持ちが多少慰められ、憂愁までを忘れてしまう。この故事は後世に渡り、唐代以降の詩人たち（孟郊、白居易、蘇東坡等）にしばしば詠まれてきました。ゆえに、「萱堂」は母親を指す敬称となり、萱草のお花も母親の象徴となり、今に至っています。

唐・孟郊の『遊子』という詩をここに挙げたいです。「萱草生堂階、遊子行天涯。慈母倚堂門、不見萱草花」。遠方に出かける子どもが萱草を植えたけれども、母親は我が子のことを案じるばかりで、お花を見る余裕さえもないということなんです。「天下父母心」、つまり母親が子どもに対する愛情をこの僅か数行でたっぷりと表われています。機会があれば、萱草のお花を母親に捧げたらいかがでしょうか？（王菲）

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り ⑥

同じフィールドに何度も足を運ぶ理由



▲オカトラノオ

7月9日の自然観察会では主に植物の観察を行い、花が咲いていたり実のついているもので20種ほどが見られ、他にも真っ赤なタマゴタケや真っ白なシロオニタケなどのキノコ類も見られました。その中から一種「オカトラノオ」という花についてのエピソードをご紹介します。

オカトラノオはサクラソウ科オカトラノオ属の多年草で、花穂の先端が虎の尾のように垂れ下がる様が名前の由来なのですが、私が初めてオカトラノオを見たとき、「言われてみればしっぽのように見えなくもない。でも正直、言うほど虎の尾に似てるか？」と思わずにはいられませんでした。いかにも円錐形で太短く、虎というよりも恐竜のしっぽというべきでしょう。「虎って縁起がいいから多少無理筋でも名前にあやかりたかったんだろうなあ」と命名者に失礼な感想を抱いたのですが、次に見たときに自身の慢心を思い知らされたのです。

なんと、花がみによーんと長く伸びていたのです！確かに花が終わると茎が伸びるタイプの植物はアブラナ科を筆頭にたくさんあるのですが、なるほどオカトラノオもそうだったので。全体が長く伸びた様子はまさにトラのしっぽに恥じない姿でした。知ってるつもりの生き物でも、時や場所によって全然違った姿を見せてくれることがある、この経験が私が何度も同じフィールドに足を運ぶ大きな理由の一つなのかもしれません。

（愛場 結偉）

熊井の森トラスト基金への支援を

★1口 5000円から

<振替口座>

■ゆうちょ銀行

記号番号 00210-4-143207

加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座>

■ゆうちょ銀行 支店 〇三八

口座番号 9472664

口座名義 クマイノモリトラストキケン
（熊井の森トラスト基金）

★年会費 3000円支援の場合

■ゆうちょ銀行 店名 〇三八 店番038 普通預金

口座番号 96656981

口座名義 トリノマカキョウフォーラム

定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第2火曜日

集合場所: 熊井の森・石場沼下の空き地

（駐車場としてお借りしています）

集合時間: 午後1時半（終わりは午後3時過ぎ頃）

はとやま環境フォーラムは月に一度（第2火曜日 午後1時半～3時過ぎ）、熊井の森に入り観察会を行っています。その時々に出会えた生き物を記録し、熊井の森のより良い在り方を模索するため、継続的に森や周辺の変化を楽しみながら調べています。ご興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。

★熊井の森をみんなと安全に歩ける格好の機会です。

足の便の都合のつかない方はご一報を。ニュータウンかわせみハウス前で待ち合せて相乗りで向かい、帰りも一緒できます。